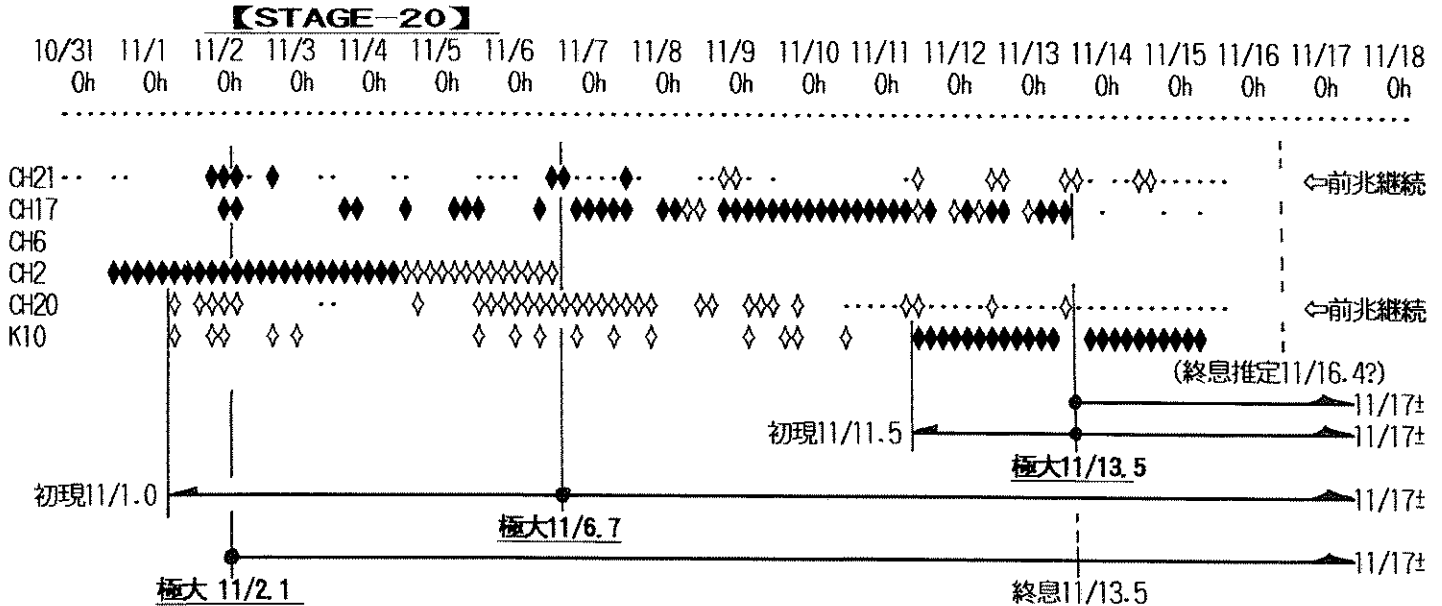


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆現況 11/11~15 K10に前兆継続出現 その後 終息
11/13.5極大 11/16昼前に前兆終息すれば⇒11/17±発生の可能性



2008年07月より観測歴上最長の8年4ヶ月継続する前兆群=No.1778は現在第20ステージ認識。長期継続したCH17系状特異は、11/13昼に終息し正常基線に復帰。11/2.1極大に対する前兆終息の可能性有。その後の・印は極短時間前兆で直前特異の可能性有。高知観測点 K10にやや顕著な特異状態が次の期間、2度に渡り継続出現。(11/11 13h~11/13 09h)(11/13 17h~11/15 09h)出現形態から極大の可能性有。極大は8時間静穏化した中心の11/13.5の可能性があり。上図参照のとおり、現在迄の前兆出現変化状況から、11月17日を示している可能性が強く示唆されます。11/13.5 極大前から現在までに、新たな継続前兆が出現していないことから、現在の第20ステージが示す11/17±に次の

極大が出現する可能性は考え難く、現在の第20ステージが示す11月17日が対応地震発生日である可能性が示唆されます。仮に上図の前兆変化動向認識が正しく、11月17日が対応地震発生日となる場合には、現在継続出現中の弱い前兆=CH20, CH21が明日11月16日昼前に完全終息する可能性が計算されます。但し、11/13.5極大に対する直前特異が出現する場合は明日18時±3 の可能性。明日昼前~午後の時間帯に前兆終息時間帯が出現するか注目。11/17 午前段階で前兆が顕著に継続していた場合は再考します。

※続報を記してもHP担当者の方の仕事の都合でアップが遅くなる可能性もあります。その場合はお許し下さい。

- ◆推定領域：右図点線領域内付近=大枠推定領域
太線領域内付近=可能性考え易い推定領域
※岐阜県~福井県(石川県南部と滋賀県北部含)

- ◆推定規模：M7.8±0.5

- ◆推定時期：11月17日(誤差あっても18日)
(※但し11月16日昼前に前兆終息が条件)
(11月17日午前時点で前兆継続の場合は再考)

- ◇推定地震種：震源浅い陸域日本列島の地殻地震

- ◇推定発生時刻：午前9時±1(又は午後6時±3)
(※前震発生の場合は無効)

